

(様式2)

令和5年3月24日

京丹後市議会議長 谷津伸幸様

会 派 名 無 会 派
代表者氏名 松本 聖司

調査研究等報告書

下記のとおり実施しましたので報告します。

記

- 1 日程 令和4年11月24日(木)
- 2 場所
 - ・近畿中部防衛局 茂籠勇人局長(10:00~10:30)
 - ・近畿地方整備局 水野宏治道路部長(11:40~12:00)
- 3 目的
 - ・京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟の活動目的のための要望書手交
- 4 該当する政務活動費の使途項目
 - ・要請陳情費
- 5 支出経費の内訳と金額
 - ・バス借上げ費用の10分の1 ￥10,391円
- 6 参加議員名
 - ・松本聖司
- 7 活動成果の概要、所見
 - I. 近畿中部防衛局 茂籠局長(10:00~10:30)

近畿中部防衛局長の茂籠勇人氏を訪問。入室後直ちに順次名刺交換をし、要望書の手交を行う。その後、参加者全員で写真撮影後、着席。

池田会長から、府道浜丹後線宮バイパス、府道間人大宮線の大門橋が開通したお礼があり、続いて、本議員連盟として国内2例目のミサイル防衛用早期警戒レーダーが配備されている米軍経ヶ岬通信所は、安全保障上欠かすことのできない施設で

あるとの表明があった。その上で、継続中の道路事業に対する支援のお礼と昨年から要望している国道178号の「屏風岩橋」建設要望を民生安定事業としてお願いしたいと要望書の説明があった。

ア．事業中の道路事業要望

- ・主要地方道浜丹後線（上野平バイパス）
- ・一般府道間人大官線（丹後弥栄道路・丹後工区）
- ・主要地方道網野岩滝線（外村バイパス）

イ．要望中の道路事業

- ・国道178号（「仮称」屏風岩橋）



近畿中部防衛局において茂籠局長に要望書の手交

森口府議会議員からは、5月末に自民党府議団としてレーダー基地を視察した。防衛省の予算で、京都府として京丹後市内で多くの道路整備の支援をいただいている。引き続いての支援をお願いしたいとの挨拶。

桜井副会長からは、地元丹後町から米軍関係、自衛隊員が地元に関わり添った交流活動を積極的にお世話になっているとの声も聴いておりありがたい。仮称屏風岩橋については、合併前からの悲願のひとつである。

谷津議長からは、茂籠局長が就任時に京丹後市まで挨拶に来ていただいたことに感謝申し上げる。全国の自衛隊の情報施設を設置している自治体の議会議員で構成している防衛施設協議会からの要望書にも記載しているが、レーダー施設等を設置

している場所は、道路環境が十分に整備されていない地域が多く、京丹後市も例外ではない。交通事故等も危惧されるので、引き継続しての環境整備を求めたい。

私（松本）からも屏風岩橋の事業化に必要性を申し上げた。ヘアピンカーブ、アップダウンが続く場所で南側がすぐ山になっていることもあり、冬場における道路凍結の危険性が高いエリアである。あわせて、京丹後市内においても過疎化が特に進んでいる地域であり、橋梁の事業化が叶ったら地域の皆さんの米軍通信所及び経ヶ岬分屯基地への理解がさらに進むものと考ええる。

茂籠局長からは、私も京丹後市出身なので皆さんの想いはよくわかる。議員連盟の皆さんには防衛の取り組みに理解をいただき感謝申し上げる。昨今の日本を取り巻く安全保障で大きな成果を上げている。引き続き皆さんと連携して地域の安心安全に努めていきたい。今の事業は令和8年から10年程度と認識している。屏風岩橋は大きな事業費がかかる事業である。現地を知っている私としては引き続き努力をしていきたい。との話をいただく。

Ⅱ. 近畿地方整備局 水野道路部長 （11：40～12：00）

近畿地方整備局道路部長の水野宏治氏を訪問。入室後、直ちに順次名刺交換をし、要望書の手交を行う。その後参加者全員で写真撮影の後、着席。



近畿中部防衛局において茂籠局長に要望書の手交

池田会長から、山陰近畿自動車道は、日本海沿岸国土軸を形成する重要な道路であり、日本海側唯一のミッシングリンクになっており全線事業化のめどが立っていない。道路ネットワークの構築は、産業の振興や救急医療など市民生活に直結し、

本市の発展にとって最も重要な課題である。そうした中、令和4年10月16日に丹後・地域高規格道路推進協議会主催で開催された山陰近畿自動車道路早期実現促進大会では、早期全線整備の時期的目途を明らかにし、同整備のできる限りの加速化を実現するため、利用者負担を排除せず、安定的な財源確保により令和10年代の全線整備と令和5年度に網野ICまでの事業化を関係機関に強く求めたところで、との説明の後、4点の要望を申し入れた。

ア．大宮峰山インターチェンジから府県境までの全線を令和10年代に完成するよう具体的な整備の年次計画を立てて全線整備の具体的な目途を明らかにするとともに、その早期全線整備を図られたい。

イ．大宮峰山インターチェンジから網野インターチェンジまでを令和5年度までに事業化されたい。

ウ．大宮峰山道路の早期完成に向け、事業化の推進を図られたい。

エ．府県境までの区間について、地元希望ルート帯に配慮し、早期にルート決定されたい。

水野部長からは、山陰近畿自動車道路の重要性については改めて申すまでもなく、早期完成が望まれる道路である。その上で、地元関係団体が早期建設促進のために、利用者負担を排除しないとの方向性を示されたことに敬意を表したい。引き続き、防災・減災、国土強靱化の中でしっかりと取り組んでいく。との話をいただいた。

III. 所見

山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟で、防衛省近畿中部防衛局及び国土交通省近畿整備局へ要望活動を行った。

近畿中部防衛局には、令和3年度末に府道浜丹後線宮バイパス及び府道間人大宮線の大門橋が完成した。京都府の事業ではあるが、防衛省の民生安定事業として財源の全面的な支援をいただいております。現在事業継続いただいている事業も含めて感謝申し上げます。あわせて、防衛省の予算ということもあり、京都府におかれては事業執行に係る地元住民等の関係者との調整に、格段の配慮をいただいていることに感謝申し上げます。令和3年度より要望しています国道178号の屏風岩橋の事業化については、事業予算が大変大きく見込みが立っていない状況ではある。効果としては米軍経ヶ岬通信所への利便性向上は当然であるが、宇川地域は京丹後市内で過疎化が大変進んでいる地域であり、日々の日常生活に不便さが増しており、事業化は地域住民の活性化に寄与する事業なので、引き続いて取り組んでいきたい。また、現在の近畿中部防衛局長は、京丹後市峰山町出身の方であり、市内の地形や政治土壌等も理解いただいているので、議員連盟としても民生安定事業の今後の新たな事業化にも知恵を絞ってまいりたい。

近畿地方整備局には、毎年、山陰近畿自動車道路の早期全線完成の予算要望を実施しているが、丹後・地域高規格道路推進協議会及び加盟団体等で早期全線完成のために、新たに「利用者負担を排除しない」との考え方のコンセンサスを取り付けたうえでの要望活動となった。以前より、京丹後市も含めた地域の費用対効果や建設促進を推進するための地元の情熱を形として示すことの大切さを求められていたため、令和

10年代全線開通に向けて、具体的な目途を求める要望活動となった。観光を含めた市内経済活動において、民間の経済投資も含めて活発になることを期待したい。京丹後市においても、令和5年度予算において山陰近畿自動車道路におけるサービスエリア機能の設置について検討することが示された。京都府下における京丹後市の南北格差是正のため、インフラ整備は大変重要であり、引き続き活動を強めて参りたい。

8 成果物、資料等

- ・近畿中部防衛局及び近畿地方整備局への要望書・・・・・・各1通